

日本における宣教のグローバル化(2)

「あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」(マタイ28:19)

B国宣教師 宇井英樹

日本にある宣教戦略的重要都市

(1) 宣教の拡大

日本は世界で最も影響力のある国の一つで、東京はその中心です。世界中から多くの人々が集まってきます。また日本も海外から人々を迎え入れていて、多くの外国人が東京エリアに滞在しています。その数は今後ますます増えるでしょう。日本全体で約230の英語礼拝が持たれていますが、東京だけでも約50、関東エリアでは100以上になります。国際教会のネットワークを通して、これまで交わりがなかった教会間に交わりが始まっています。今後、さらに増える外国人を見据えて、国際教会がクリスチャンのコミュニティとして礼拝の場を提供するにとどまらず、彼らに福音を届け、さらにその中からリーダーを養成し、宣教拡大の備えをする必要が見えています。

(2) 宣教のロールモデル

東京はさまざまなテクノロジーの分野で、世界の基準となるリーダー的存在です。東南アジア諸国では「メイド・イン・ジャパン」を持つことは今だにステータスで憧れます。日本の音楽、ファッション、アニメは大きな影響力を持ち、日本食レストランはどこでも大人気です。東京は世界にロールモデルを示す力を持っており、ここで健康な国際教会が建て上げられれば、世界のロールモデルとなるでしょう。東京で有機的な教会の交わりがあれば、それは全世界に広がることでしょう。

日本の中のイエス

日本のクリスチャン数は1%以下、被宣教国です。だからと言って日本にあるすべてが非聖書的なものではありません。日本人は礼儀を重んじ他者を尊重します。決まりや約束を守ります。他者のために自己を犠牲にできます。忍耐します。あきらめません。感謝します。謝ります。これらは御言葉と一致します。

クリスチャンになることはこれらを否定することではありません。宣教のグローバル化はこれらを失うことではありません。聖霊の力によって、ますます日本の中にあるイエスが鮮かに輝き、全世界にまで行きわたることです。

神はすでに素晴らしい御業のために動き始めています。日本に、そして日本を通し全世界に御国が来ることを続けて祈り求め、神の御声に忠実に応えましょう。



留まることに

安川圭吾・美穂
タンザニア

全ての名に勝る主イエスの御名をほめたたえます。4月1日にタンザニアの日本大使館から、日本への速やかな帰国を検討するようにとのメールが送られてきました。アフリカの医療事情の悪さとコロナウイルス感染が急速に拡大する可能性が高いことが検討要請の理由です。また、日本の愛する先生方や兄弟姉妹方もご心配くださって帰国を勧めてくださいました。その時点では日本への唯一のフライトが4月18日成田空港行き(エチオピア・韓国経由)でした。これを逃すともう日本に帰る便はありませんでした。主の御前で祈り、また夫婦で話し合っ、私たちはタンザニアに留まってインド人教会の兄弟姉妹と一緒にこの時を乗り越えて行くことに決めました。その後、日本大使館から空港が閉鎖になり、4月18日の便がキャンセルになったとの連絡がありました。結果的にはどちらを選んでも帰国することは出来なかったのですが、結論を

見てからでなく信仰によって留まる選択が出来てよかったです。

退路が絶たれて、美穂も私も前に向かって進んで行こうという意欲が湧き上がってきました。インド人教会の礼拝は、通訳のハンニト兄弟に我が家に来てもらいオンラインで配信しています。毎週、各家庭でパンとぶどうジュースを用意してもらい、共に聖餐式を持ち、離れていても神の家族であることを確認しています。未信者のヒンズー教徒やイスラム教徒からも私たちのオンライン礼拝の配信の希望があり、伝道メッセージも語らなければいけないね、と話合っています。インド人教会の兄弟姉妹たちにも賛美、証し、メッセージ、祈りを平日に配信するように励ましたところ、毎日2、3人が配信するようになりました。我が家の子供たちは、学校のオンラインの授業を一生懸命やっています。渋谷教育宣教師がいてくれることが大きな祝福です。よくぞこのタイミングで送って下さったと主に感謝しています。(4月18日の便で帰国するかどうかを私たち家族の必要は気にせずに選択するように伝え、渋谷兄弟も信仰によって留まることを決断されました。)タンザニアから主が力強い義の右の手で日本の愛する皆さまを守って下さいますようお願いしております。

(圭吾)



神に心を向けるチャンス

井野葉由美
ドイツ

世界は新型コロナウイルスの話題一色になっています。このニュースレターが皆様のお手元に届く頃には、明るい兆しが見えてきていることを祈っています。4月末から日本に一時帰国してデピュテーションの予定でしたが、今年は見合わせることにしました。状況が落ち着いてから、新たに計画したいと思っています。

ハンブルグ日本語教会は3月22日以来、オンラインでの礼拝となっています。会堂はインターネットが通っていないので、我が家の居間からつなげています。遠方にお住まいで毎週礼拝に集えなかった方や、ハノーバーの方などもオンラインゆえに参加でき、礼拝人数は逆に増えています。4月5日は、ノルウェーのオスロで奉仕の予定でしたが、飛行機がキャンセルとなりましたので、一緒にオンライン礼拝に参加しました。普段別々の場所で集まっている方が、インターネットを通してですが出会うことができ、喜びの

時を持ちました。

教会員から「一人で祈るだけでなく、ともに祈りを合わせたい」と同刻祈禱が提案され、短い時間ですが毎朝8:00~8:10同刻祈禱をしています。ペンテコステまで続ける予定です。フェイスブックで呼びかけたところ、日本から参加してくださる方も与えられています。半ば強制的に(?)主の前に静まる時を与えられ、私自身は神からの語りかけを以前よりキャッチしやすくなっている気がします。「ドイツはともに祈る」というドイツ全国一斉祈禱も4月8日に行われました。1989年にベルリンの壁が崩壊するきっかけを作ったのも教会の祈り会からでした。今は多くの方が神に心を向けるチャンスだと思っています。

昨年、日本語教会にドイツ人メンバーが誕生しました。日本学専攻の大学生Eさんは、「ドイツの国教会で育った私は神様の存在は知っていた。でもイエスと個人的な関係を築くことは、日本語教会に来て初めて知った。私は教会のみんなが大好き。この教会は私の家族になったよ」と言っています。他にも日本語ができるイラン出身のKさんや、台湾出身のSさんも集っています。日本語を介して、他の国の方々と一つの教会を形成していけることをとても嬉しく思っています。



イエスから目を離さないで

高橋真一・千恵美
モンゴル

いつもモンゴル宣教のために祈り下さりありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で冬と春の予定は全て延期となりました。現在、日本人の入国は一部の人々(モンゴル人の配偶者、家族)以外は認められていませんので、次の渡蒙の時期は未定の状態です。

モンゴルは感染者ゼロの1月末から全ての学校が休校となり、集会も禁止となりました。

旧正月(2月)の家族、親族での集まりも禁止でした。学校の休校期間は延長が続き、5月末までの休校が決まっています。夏休みは6月から8月末までの3ヶ月間(夏休みは短縮しない方針)ですので、子供たちは8ヶ月近く学校を休むことになります。その後も規制は厳しくなり、国境の閉鎖、県を越えての移動の禁止、交通規制、外出の自粛、商店の閉鎖などが行われています。国際列車はストップし、飛行機もモンゴル人帰国者のためのチャーター便以外の

発着はありません。ひとたび感染が広がれば医療、政治、公衆衛生など、どの点を取っても国家存亡にかかわるという認識です。徹底した危機管理の下で現在の感染者は36名で、全て海外からの帰国者で検疫隔離済み。市中感染はゼロの状態を保っています。

教会では1月末からインターネットでの礼拝が続いています。モンゴルでもスマートフォンは普及していますので各家庭で礼拝が捧げられています。送られてくる写真の中に教会から離れていた人、様々な事情で教会に来ることのできなかった人たちが家族や友人の家で礼拝している姿を見ます。神様がこの時を用いて下さり、信仰、人間関係、家庭に回復が与えられるようにと祈っています。インターネット礼拝となって3ヶ月以上(4月末現在)が経ちました。閉塞感の中に置かれているモンゴルの兄弟姉妹方を思う時に様々な心配もありますが、モンゴルの人々の自由な発想と大胆な行動力を神様が用いて下さると期待もしています。

閉ざされていることに目を奪われやすい時ですが、「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。」(ヘブル12:2)この御言葉に留まり続けたいと思います。愛するモンゴルの神の家族の信仰が守られ、宣教が拡大されて行くようにお祈り下さい。(千恵美)



選挙で変わった韓国伝道

三輪修男・文子

韓国

新型コロナウイルスの感染被害で、未曾有の困難を受けておられる日本の皆様に、心から主の癒しと守りがあるようにお祈りします。

さて、韓国では4月に総選挙が行われて、危惧されたように与党(文在寅大統領の支持母体)の圧倒的勝利に終わりました。これで、文大統領の思想が内政・外交に、より一層反映されることとなり、北朝鮮との同盟強化、反日思想の高まりによって親日派は罰せられることになりそうです。またキリスト教も静かな圧迫を受ける傾向が始まるようになっています。

最近コロナウイルスの影響で、教会での礼拝は制限を受けています。大教会の礼拝は、3月下旬から4月下旬まで中止になり、オンラインで礼拝している状況です。また、小さい教会でも礼拝をする際は、マスク、消毒、検温、また2mの間隔を空けて座などの指示が出されました。

日本でも東京を始め全国に感染が拡大して、大変な状況だと聞いて

ています。韓国も同様ですが、違うところは3月に宗教団体“新天地”(異端)が、集団感染を起こし危機的状況になった後、韓国政府が迅速に処置をしました。そのため全国には広がらず、4月にはほぼ収束に近づいています。日本のように各政党や専門家の意見を聞きながら、百家争鳴の中でのウイルス対策では、時間的に後手に回る感がします。事は急を要しますので、政府は早急な行動を取られるように祈ります。このあたり、日本は“下意上達”のボトムアップ方式ですが、韓国は“上意下達”のトップダウン方式ですので、これが功を奏したと言えるでしょう。

こうしたなか、カペナント教会は現在10名ほどの方々と一緒に礼拝を守りながら、説教をYouTubeに録画して配信しています。すでにお知らせしたように、昨年、忠信教会を出て、ソウル大学近くに移転しました。これに伴い、教会名をお借りしている集会場の名前にちなんで“カペナント・ケンブリッジ日本人教会”に変更し、教会の代表に元・総神大学総長の鄭聖久博士になっていただきました。先生とは30年を超えるお付き合いがありますが、喜んでお引き受けいただきました。現在、白井徹伝道師、権正玉伝道師、ジョン朴牧師、本田知邦教授などが奉仕をしてくださり、30名の礼拝出席を目標に励んでおります。(修男)



結婚式、そしてしばしの別れ

長澤久美子

韓国

まず我らの十字架の主、そして復活された主の栄光ある御名を賛美します。コロナよ来るな!と叫びたいほど大変な時、日本の皆様は主を仰ぎ、祈りつつ、不便な生活に耐えておられると思います。すごい勢いで感染が拡がり、東京オリンピックの準備が急遽コロナ退治に早変わりしました。こちら韓国では、中国の武漢に出かけた新天地という異端のメンバーから集団感染が始まり、それが大邱市(テグ)にあれよあれよという間に蔓延し、手に負えないほどの急増。もう12、3年前のことですが、両親が離婚し、母親と継父と住むようになった子を知っています。三男ヨハネの同級生で、中学生時代に親しくし、伝道し、教会にも誘っていました。しかし思春期でもあり、継父を受け入れられず、実の父親懐かしさに遠い光州へ飛んで行きました。ところが先に関わっていた父親に新天地に連れて行かれ、入信しました。それ以上、私たちも連絡しませんでした。あの

子の事を思うたびに悲しくなります。祈ることしかできませんが…そしてその新天地からコロナが拡がってしまいました。

私たちは現在、主日の朝だけ礼拝を守っています。初めは普段の半分ほどの出席でしたが、その後は3分の2。今は身体の弱い姉妹とコロナに不安を感じる人たちが休んでいます。理解しますが、主に祈っています。このところ感染の勢いは減って、今日はコロナによる死者がゼロでした。

さてこんな中、次男ダビデは3/28に結婚式を挙げました。出席者がコロナから守られるよう祈っていましたが、何と300人近い方々がお祝いに駆けつけて下さいました。そして出席者だけでなく、そのご家族も職場の人たちもウイルスから守られました。主を讃えます。ハレルヤ! 新郎新婦は済州島へ新婚旅行に行き、そこから戻った日の夕方、何と新婦はカナダに帰国。(カナダ国籍の韓国人です)そして自宅隔離後、看護師なので病院でコロナウイルスを検査しています。ダビデは今年2月に韓国の大学を卒業し、カナダの大学で専門の機械工学を学ぶためビザの取得準備をしています。こうして二人は新婚早々、離れ離れとなりましたが、早く一緒に住めるようにお祈りください。また、祈り支えて下さる皆様の上に、感染からの守りと恵みを祈りつつ、感謝と共に。



神様の導きと恵みのなかで

朴ダニエル・リムヨンジェン

韓国

コロナウイルスとの戦いで、この世における活動のすべてが止まってしまいました。特に教会の主日礼拝も正常に捧げられない衝撃で、生きている神様の絶対主権をもう一度記憶し、畏敬の念を持つようになります。このような状況にもかかわらず、ビジネス宣教師訓練院JBAは、3月8日から2020年春学期を始めました。私が韓国にいない中でも、自発的に訓練を進められており感謝です。新しい30代の新入生3人を歓迎する若者たちの集まりを写真で見ながら、神様の誠実さと確かな導きに感謝を申し上げます。

■お祈りの課題

- 1.私の働き之母体である、ソウルの日本ビジョン教会の礼拝の上に力強い聖霊の油注ぎがありますように。
- 2.ビジネス士官学校のJBAに新しく入った3人の青年と2学期生と3学期生にも良い訓練ができますように。また、卒業生たちも日本の

教会の手足となって助ける働きができますように。

3.コロナウイルスの問題が収まり、一日も早く日韓関係が元どおりになり、自由に往来ができるようになりますように。

また今回、感謝なことがありました。

私は3月8日の日本ビジョン教会の創立12年記念礼拝とJBAの卒業式の直後、日本に来てもう2ヶ月になりました。ソウルの日本ビジョン教会をこんなに長い時間を離れたのは初めてです。でもこの期間は日本ビジョン教会と私にとり、神様の導きの中で深い主の恵みを体験する祝福の時となりました。

- 1.危機感の中で、すべての聖徒たちは祈り、日本ビジョン教会の献金も減らず、最も集まる姿を目のあたりにしました。
- 2.大阪ビジョン教会の賃貸料は11万円なのに6万円に値引きしてくださって、JBA HOUSEの賃貸料も5月分は免除していただけることになりました。(5/19大阪市より民泊許可が下りました。)
- 3.八尾福音教会をはじめ、支える会の皆様と覚えてくださる皆様の祈りにより、一人でJBA HOUSEに住みながら深い主の恵みを味わう時間になっています。(ダニエル)

ちえさんの祈りコーナー

新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、いくつもの国が全面封鎖の状況に追い込まれています。先進国でさえ困難な生活を余儀なくされています。格差が大きく路上生活者や貧困に喘いでいる人々が溢れているこの大国では、政府の手助けもなく、食物や飲み水も手に入らない人々が限界を感じ、暴動が起っています。宗教的な迫害も日増しに酷くなっています。主の憐れみがこの国の人々を包み、御名の栄光が現われますようにお祈り下さい。

みかさんの祈りコーナー

ロックダウンが長引き、人と会う、集まることを制限され自宅待機。

ここにおいても何もできず、留まる意味があるのかと思う時、ローマ10・13〜17を読む。

今この時期、ここに置かれているのは主のご計画なのだと役割を再確認。

祈祷課題

- ・5月下旬まで続く断食月。宗教的になっている人々がイエス様を知ることができたため、個人伝道が祝されるように。

- ・未伝部族伝道ネットワークのため。最前線にいる働き人たちの安全と経済のため。

- ・前号でお伝えしたいくつかの問題が、ロックダウンのために物理的距離ができれば休止状態。感謝と同時に、この機会にしっかりと解決に向けて地盤を固めることができるように。



時に備えて

在原 繁・津紀子

アルゼンチン

「秋深き隣は何をする人ぞ。」(松尾芭蕉)

この俳句から人と人との空間が美しく保たれた、落ち着いた日本の風土が見えてきます。絶えず人とのスキンシップやおしゃべりを生活習慣とする宣教地の民が、芭蕉の世界を理解することは難しいでしょう。しかし状況は大きく変わりました。「ワッショイ！」から「隣は何をする人ぞ」が、アルゼンチンの今日の姿なのです。

3月に発令された「都市封鎖」、「集会禁止」、「外出禁止」令により集会はできず、食品と薬品以外の買い物は禁止されています。違反者はその場で逮捕という事で、即ち「戒厳令」とご想像ください。

しかし、何もせず家でブラブラしているわけにはいきません。ここは散らされた羊たちを養うべく、「スマホ」での牧会が力を発揮しています。日々の「御言葉」と「祈り」こそ、神様と人との絆を強める恵みではないでしょうか。私たちが礼拝する時間が通常より増

え、逆境下においてこれが大きな力となっています。今は「御声を聞く」好機なのです。受け取った「御声」はこれでした。

「強くあれ。われわれの民のため、われわれの神の町々のために、全力を尽くそう。主はみこころにかなうことをされる。」(サムエル記Ⅱ 10章 12節) 日々の執り成しの祈りに力が入ります。

ニューヨークで牧会していた故D.ウィルカーソン牧師が、1986年に語った「預言」の一部を紹介します。預言はすべて吟味され、ウィルカーソン師の信仰、霊性、実績から、私はこの「預言」を信じます。「私は災害がこの世に来るのを見た。(略)ニューヨークは鞭打たれ激しく揺さぶられる。未だかつてなかったほど、災害は祈らないクリスチャン達を力をもって砕き、激しく祈らせ、御言葉を読むようにさせる。「悔い改め」は子たちの叫びとなる。各家庭は閉じられ、誰も出入りできなくなり、売り買いもできなくなる。スポーツは止まり、何百万ドルの契約もできなくなるであろう。町の出入り口は閉ざされ、市の活動は止まるだろう。しかし裁きが下るとき、残りの聖なる民たちは目覚め、その只中で「賛美」が生まれるだろう。川はそこから流れ溢れ、アメリカと全世界を『リバイバル』へと導くだろう。」(繁)

宣教恵みフォト



ユース集会の様子

タンザニア 安川宣教師



次男ダビデさん結婚式

韓国 長澤宣教師



JBA 訓練生

韓国 朴宣教師

アンテオケ宣教会会計報告 2020.1.1～3.31

一般会計収支

収入科目	金額	支出科目	金額
一般献金	573,256	通信費	79,993
(うちクリスマス献金)	3,000	事務費	8,115
宣教師・国内スタッフ献金	360,000	交通費	53,306
アンテオケ分担金	390,000	会議費	134,819
指定献金	200,000	出張費	76,370
		ニュース関係費	159,950
		IT関係費	31,500
		慶弔費	41,775
		事務所他借料	270,000
		スタッフ援助費	310,000
		光熱水費	16,888
		備品費	21,060
		接待費	17,908
		奉仕者交通費他	6,824
		業務委託費	20,000
		図書費	13,296
		雑費	7,237
前月繰越	1,081,395	次月繰越	1,335,610
収入合計	2,604,651	支出合計	2,604,651

献金芳名リスト (敬称略・順不同) 計 147 件

教会及び団体

旭川めぐみ アルゼンチン宣教を支える会 (2) 一条バルナバ 井野師を支える会 (3) 宇井師を支える会 (3) 江藤みかを支える会 (3) 恵庭福音 (個人) 大磯キリスト (3) 大阪栄光大野キリスト (3) 片柳福音自由 (2) 門真バプテスト 可児福音 (2) 上山聖書 亀有かもい聖書 (6) 韓国ろう者宣教支援会 (2) 郡山キリスト (6) 佐山師を支える会 (3) シオンが丘 十字架福音 (2) 白河栄光 新生宣教団 菅キリスト 高松シオン (6) 高松ニューライフチャーチ 宝塚福音 垂水 (3) タンザニアミッション (3) チベット宣教支援会 (6) 千代田福音 土崎グローリア 東京若枝 (3) 名古屋一麦 (3) 名古屋グローリアスチャペル 日本イエス教団事務所 (3) 朴師を支える会 (3) 東川口 東松山福音 ビサイドチャーチ東京 (3) 平塚福音 北海道聖書学院学生会 本郷台 (3) 未伝地ミッションを支える会 (3) 宮崎北 (3) 三輪師を支える会 モンゴルミッションジャパン (2) 八栗シオン (3) 大和カルバリ (3) (111件)

個人

井野葉由美 (3) 内山義彦・和子 大田裕作 柏原米 (2) クリスマン親和会 (2) 小路伸夫 高井ヘラー由紀 (3) 高橋政人 高山嘉津子 (3) 竹内優香 辻井敏子 坪内貴代子 星出卓也・薫 (2) 三浦岸雄 (3) ミノウラヨシハル 宮川淳子 武藤元康 (2) 森田益兆 吉田隆・恵利子 匿名 (5) (36件)



書籍のご案内

「マケドニアの叫びに答えて」

主な内容

1. 聖書が示す主の世界宣教の計画
2. 現代の宣教師像
3. 宣教師への道
4. 宣教師の生活と奉仕
5. 世界宣教の現状と現代的課題
6. 日本の教会による海外宣教の取組み

* 海外宣教への第一歩としてぜひお役立てください。事務局にお問い合わせいただければ特典がございます。お電話 (またはFAX、メール) でご連絡下さい。



事務局便り

● 2020年度最初のニュースレターをお届けいたします。コロナによって世界中が痛み、苦しみ、悲しみの中ですが、それぞれの宣教地での様子をやはりお届けしたいと思い発行、発送させていただきます。愛する方を天に送った方々、医療従事者で休みなく働いてくださっている方々、また感染で苦しみの中にいらっしやる方もいません。神様の癒しと慰め、お支えを心からお祈りしています。

● 各国で、このコロナを通して、主のリバイバルが起こされることを祈っております。皆さまのお祈りとお支えを心より感謝します。今年度も引き続きよろしく願います。

● 「全国どこでも出張」は、状況を見ながら継続していきます。当宣教会が交通費等は自費でお伺いさせていただきます。どうぞお申し込み、お問い合わせください。お問い合わせの際、三つほどのご希望日をお知らせください。

《各事務局主事のひとこと》

・ 私たちの目の前で、ここまで世界が変わってしまいました。目を覚まし祈り、更にとりなし手として、アンテナを張って仕えていきたいと思っています。(高山)

・ 時節柄、宣教師のレポートにもコロナに関するものが多いような気がします。なかでも医療環境が日本よりずっと悪いところにいる先生方が日本のために祈ってくださることに感動を覚えます。私たちも彼らのために祈ります。(菅野)

・ 「希望はあります。いつかは終わります。前に進んでいる」というのは終わりに向かっているの、前に進めば終わりに近づく。4月19日放送の「情熱大陸」にて、クリスチャンで感染管理専門家の坂本史衣さんが、「希望はあるか?」との質問に答えていました。歴史のゴール、主イエスの再臨を待ち望み、どのような状況でも少しづつでも宣教の歩みを進めていきたいと思っています。(佐藤)

● 次号二二二号は、二〇二〇年九月発行の予定です。